

■【トピックス】

中村医師銃撃事件！



12月4日にアフガニスタン東部で日本人医師の中村哲さんが銃撃されお亡くなりになりました。中村さんは医師でありながら、長年にわたりアフガニスタンに貢献されてきたことは世界の多くの人が知るところです。

しかし、悲劇は引き起こされました。許される犯行ではありません。それでも中村さんの功績は決して無にはなりません。アフガニスタンでも必ずその志は引き継がれることでしょう。

■【今月のキーワード】

社外取締役

社外取締役とは、株式会社の取締役であって、その会社の業務執行取締役や支配人等ではなく、また過去においてもその会社の業務執行に携わっていなかった者のことをいいます(会社法第2条15号)。その期待される役割は、中長期における企業価値の向上に向けた経営戦略・経営方針等について大所高所から助言・指摘を行い、また経営(業務執行)の監督・監視(モニタリング)のための指摘や問題提起を行うことです。上場会社には、2名上の独立社外取締役の選任が要請されています。

■【ビジネス・アイ】

社外取締役義務化

社長 「そういえば、会社法が改正されて社外取締役が強制されるという記事を読んだんだけど、中小企業は関係ないよね」

花野 「そうですね。中小企業には設置義務はありません。株式を上場している会社法上の大会社だけが対象ですね。」

社長 「上場会社の不祥事が最近増えている気がするから当然の流れかもしれないね」

花野 「これまでは、社外取締役を置いていない場合には株主総会で置かないことが相当である理由を説明すればよかったです、これからは必ず設置することが必要になりますね」

社長 「ところで花野さんもどこかの上場会社の社外取締役をやっていたよね」

花野 「はい、東京証券取引所第1部上場会社の医療機器メーカーの取締役監査等委員をやっていました」

社長 「それは大変そうだね。ところで上場会社は、やっぱりみんな社外取締役を選任しているのかなあ？」

花野 「すでに、東京証券取引所第1部上場会社では2名以上の独立取締役を選任している企業の割合は約98%になります」

社長 「そうだよね。上場会社となると社会的な責任が重いからね。外部の目が必要だよ」

花野 「そうですね。コーポレートガバナンスを絶えず向上する責任がありますね」

■【今月の1冊】

『ブラックマーケティング』

中野信子 鳥山正博 著
KADOKAWA ¥1600

従来のマーケティングでは、悪徳商法などのブラックな手法は触れられませんでした。ある意味規範的な学問でした。

しかし、世間には悪徳商法などのブラックマーケティングがはびこっています。この本では脳科学とマーケティングの専門家が人間心理に基づいたマーケティングの本質を分かりやすく解き明かしています。



■【編集後記】

パソコンを買い替え古いパソコンはリサイクルに出しました。電子機器を買い替えて最新のものにするのはいいのですが、古い機器の処分に手間が掛かりますね。もっと簡単に処分できると買い替えも進むのではないのでしょうか？

『経営のセカンド・オピニオン』vol.154 (毎月1日発行)

●定価：2,400円/年 ●発行日：2020.1.1 ●発行人：花野康成

●編集・発行：有限会社ビジネス・インスパイア

〒460-0003 名古屋市中区錦3丁目1番30号錦丸ビル5F

TEL.052-205-6361 FAX.052-204-8808